

ふるさと 資料紹介

＝◎＝

通称ガンガン箱などと呼ばれて
いましたが、正式には斎藤式特
許稚蚕飼育器といえます（写真
2）。金属の缶でできており、
日光をあてて火力を使わずに補
温する点に特色がありました。

今回は、次の方から貴重な資
料を寄贈いただきました。あり
がとうございました。

（平成十年十一月分）

○京町自治会文書

（桑原庄助さん／本郷町）

○田畑農業基礎団体の唐箕

（座馬知己さん／本郷町）

○大八車

（市原滋弘さん／三和町）

○エンザトリ

（市原正夫さん／三和町）

○オオミノ

（市原五義さん／三和町）

○米選機（天保三年）など五点

（柴田文夫さん／三和町）

○ムギウチなど六点

（堀部京一さん／蜂屋町）

○中村累層のビーバーの化石

（川合康司さん／蜂屋町）

○神明神社の祭礼共有具

（横井組氏子中／蜂屋町）

○膳など四点

（酒向辰美さん／蜂屋町）

博物館建設のため、現在いろ
いろな資料を収集してまいます。

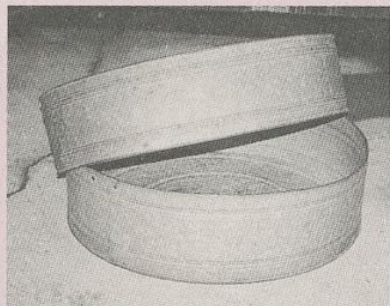
文化課（文化会館内／圃内四〇

八）まで情報をお寄せください。

収集資料紹介ノート ーモノに歴史ありー

（九）ガンガン箱

蚕の飼育には温度が重要なこ
とは、前にも話しました。今回
の道具（写真1）も補温を目的
に考案されたものです。



▶写真1



▶写真2

不思議な形をしています。こ
れは稚蚕飼育用の容器です。